

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム ルンビニー

(ユニット名) 2F

記入者(管理者)

氏名 五藤 恵

評価完了日 平成 20 年 9 月 20 日

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)  ・ B S法を取り入れ職員全員の意見をとりまとめ、フロアごとの理念を作成し、掲示している。		
			(外部評価)  事業所では、「利用者個々の思いを汲み取り生活を豊かにする」「人としてあたりまえの関わりと支援」を理念に掲げ、利用者の思いを大切に、地域ともかかわりを持って暮らせるよう、支援することを目指しておられる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)  ・ 理念を基本に月目標を決め日々の生活に取り組んでいる。1ヶ月に1回行っているミーティング時に日ひとりずつ反省し、次の目標に繋げている。		
			(外部評価)  ユニット毎の目標を決め、又、職員個々に毎日、目標を立てて理念の実践に向けて取り組まれている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)  ・ 家族会や運営推進会議を開催しているが、その都度の説明はしていない ・ 毎月のお便りの発行。ホームページの作成をし、送付している。		・ 家族会や地域の集まり等の機会に理念についての説明を行う。又、ホームページやお便りにも各フロアの理念を入れる。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) ・バス停でバスを待っている方々に話しかけ、コミュニケーションを図っている。この夏には、数回「待たせてください」「お茶を下さい」などと訪ねてくださった。		・隣接するデイサービスの利用者のリハビリ(デイ ルンビニー間の歩行訓練)時にコミュニケーションを図る。 ・デイに通われているおばあさんの家を訪ねたり、グループホームでお茶を飲んでもらう。(職員がデイ ルンビニーの異動で顔なじみ)
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) ・回覧板を入居者さんと一緒に次の家へ持って行っている。 ・幼稚園、小学校との交流。 ・お遍路さんの接待。 ・お祭り・敬老会参加・わごし参加 まもるくんの家に登録  この一年間、地域行事に参加する機会を増やされ、地区の敬老会に出席された方もおられる。地域の方で、畑や庭のお花の世話をしてくださる方もいる。		・今年初めて敬老会に参加。(住民票がルンビニーにある方)地域の方が車椅子ごと抱えて、2階へ連れて行ってくださいました。帰り「来年も元気で敬老会に来てよ」と声を掛けてくださり、とっても嬉しく思いました。地域の方の温もりを感じました。これからもっと関わって行きたいと思います。  事業所では、地域の敬老会に参加されたことをきっかけに、地域との交流をさらに深めていきたいと考えておられる。又、地域の方に事業所の役割や認知症のこと等を知っていたくことに、今後さらに、力を入れていきたいと考えておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) ・看護学生・日赤の看護師の実習を受け入れている。 ・運営推進会議では、認知症についての勉強会をし、認知症の正しい知識を得てもらっている。		・地域の方へも認知症についての勉強会を開き、ネットワークを広げたい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) ・外部評価を元に目標を定め、改善に取り組んでいる。 ・自己評価は、職員全員で行った。全員が行うことで、一人ひとり自分が支援していることに対する振り返りと気付きに繋がっていると思う。  (外部評価) 全職員で自己評価に取り組み、ユニットのリーダーや管理者でまとめられた。管理者は、職員個々の視点の確認ができたと言っていた。又、目標や課題を明確にされ、今後の取り組みをすでに検討されていた。前回の評価結果を受けて、改善計画書を作成し、地域行事に参加される等、地域とのかわりを増やされた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価)  ・評価への取組状況についての報告や話し合いまで 至っておらず。現在は、ホームでの様子、サービス状 況はもちろん報告しているが、認知症を正しく理解し ていただくことに力を入れている。  (外部評価) 事業所では、「地域の中の住人として溶け込んでいく ことを目指し」て会議をすすめておられる。民生委員 の方や公民館長の方も出席されており、事業所に対し ての質問等も出されている。法人代表者が「認知症に ついて」お話しされ、理解を深めていただけるよう取り 組まれている。		・認知症を正しく理解していただき、評価への取組状 況について、報告、意見交換していきたい。  さらに事業所では、今後、会議に地域からの出席者を 増やしていきたいと考えておられた。利用者がお一人 で外出された際の見守り等、地域の協力をいただける よう、働きかけていきたいと考えておられる。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)  ・松山市社会福祉協議会から 看取り の事例発表依頼 があり、ルンビニーでの事例を話す機会があった。 又、市社協に来ている実習生が、一緒にルンビニーに 来てくださり関わりを持つ機会があった。  (外部評価) 市社協が開催する研修会での看取りについての事例発 表をされ、他施設からの質問等も受けられた。市の担 当者の方に支援について相談されたり、アドバイスを いただくこともある。		・これからも行き来する機会をつくりたい。
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価)  ・1Fフロアには制度を利用している方がいるも、2 Fにはいっしょにいないため、殆どのスタッフが理解 できていない。		・知識を得るよう勉強会を持ちたい。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)  ・ミーティング時に話し合いを行い防止に努めている も、虐待とは...の勉強会はしていない。		・虐待についての勉強会を行い、どのようなことを虐 待というのか、というところから勉強したい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) ・契約時や解約時には、時間をかけ説明を行い、納得していただくよう、努力している。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ・自分の気持ちを表出できる利用者には外部へ表せる機会を設けるよう努力している。自分の思いを表出できない方に対しては、表情やしぐさから思いを汲み取るよう、努力している。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) ・面会時や電話を利用し随時報告している。 ・又、お便り発送時には、生活の様子を書き添えて発送している。 (外部評価) ご家族の来訪は頻繁にあり、その都度、近況報告をされている。又、「ルンビニーだより」では、利用者の生活の様子やご家族とのふれあい、行事の様子等、写真を多く載せて活動の様子を伝えておられる。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ・日頃からご家族との関わりを大切に人間関係作りに努めている。又、何でも言いやすい環境作りにも気を配っている。 ・家族会では、職員が席を外し、ご家族同士で話し合っただけで時間をつくり、意見や苦情を出していただいている。 (外部評価) 事業所は、ご家族に対して開放的であり、いつでも来訪いただけるようにされている。事業所で看取られた利用者のご家族が、現在もボランティアに来て下さっている。		管理者は、今後もさらに、ご家族との関係を深めたいと話されていた。ご家族に職員の名前と顔を知っていただけるよう、ユニット毎に顔写真入りで「本日の勤務職員」を示せるよう作成中であった。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ・スタッフの意見、要望を聞くことを大切にし、改善できる所は改善するよう努力している。 ・又、意見を出しやすい環境作りにも勤めている。		・どのような事柄でも、“相談してみよう”“話をしてみよう”と思えるように、常日頃からスタッフとのコミュニケーションを図っていききたい。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) ・常に柔軟な対応ができるよう、勤務の調整に努めている。(管理者はシフトに入っていない)		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) ・できる限りなじみの関係を大切にし、異動も最小限にと考えて居るも、状態に応じて異動している。		
			(外部評価) 職員は、日頃からユニット間を行き来されており、管理者はもちろん、ユニットのリーダーも両ユニットのカンファレンスに出席され、全体を把握できるよう努めておられる。職員のチームワークがよく、職員個々が役割を持って日々取り組まれている。元職員の方がお子さんを連れて遊びに来てくれることもある。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) ・積極的に講習会などの外部研修への参加を促している。月に1度あるカンファレンスでスタッフに伝えている。		・2ヶ月に一度の割合で勉強会を開催していたが、現在行っていないため行う機会を作りたい。
			(外部評価) 外部研修への参加を積極的にすすめておられる。又、日々ケアを行う中で、管理者やユニットのリーダーの方が職員にケアのアドバイスをされている。		事業所内での勉強会もすすめていききたいと考えておられる。管理者は、今後さらに、「終末期の支援」や「緊急時の対応」等、勉強を重ねていききたいと話しておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			・相互評価に参加し、他のグループホームとの交流を図り新たな気づきを養っている。		
			(外部評価)		
			職員は相互評価事業に参加され、他事業所の取り組みを知り、生活の中でリハビリすることの大切さを学ばれた。		地区内のグループホームで集まり、意見交換を行うような機会が作れるよう、地域包括支援センターの担当者に提案したいと考えておられた。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			・ストレスの原因を把握し、その状態に対して解決に向けて努力している。 ・スタッフ一人ひとりの関わりを大切にしよう努めている。 ・季節ごとに機会を設け会食などでストレス軽減に努めている。		・更に少人数のスタッフの人間関係に配慮したい。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			・運営者は度々グループホームを訪れて、スタッフと接しており、モチベーションを高めるよう努力している。		・運営者とスタッフとの心の距離を近づけるためにも、面談や、食事の機会を増やしたい。
<p><b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p> <p><b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b></p>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			・入居までに、ご本人、ご家族に会い、生活の様子を伺っている。又、グループホームにも来ていただき、話を聞く機会を作り、少しでも安心できる環境作りをしている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)  ・入居に当たっての説明時にも、ご家族の悩みを受け止め、会話を大切にしている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)  ・初回面会時、ご家族の要望を聞き、本人の状況、状態を観察しながら対応している。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価)  ・同法人のデイサービスの利用で入居希望者が居る場合は、馴染んでもらえるよう、関わりを持つ機会を多くした。  (外部評価)  近隣の法人のデイサービスから入居となった方は、これまで行っていた通りに、ご自分で買い物に行けるよう見守り、支援されている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価)  ・お互いが支え合いながら、色々な場面を作り、笑顔が引き出せるよう、ケアに努めている。  (外部評価)  食事担当の職員は、食事メニューのことを利用者に相談しながら決めておられた。又、ハーモニカを吹かされる方に合わせて他の利用者が歌を歌い、お互いに拍手し合っておられる様子がうかがえた。		・寝ている時間が長い方が多いので、一方的な支援になっているかもしれない。



## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価)  ・入居者の日々の出来事などをご家族に伝え、ケアの方針を共有していただいている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価)  ・ご家族との関係は行動指針にも掲げてあるように、重点目標にしている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価)  ・隣にある同法人のデイサービスに通われている友人に会いに行ったり、郷里の墓参りにご家族と出かける機会を設けている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価)  ・ぶつかり合う混乱、衝突は極力避けるよう努めている。 ・入居者同士が挨拶できる場面作りを行っている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価)  ・契約終了後も週2回、ボランティアとして色々な面で協力いただいている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	<p>(自己評価)</p> <p>・今、本人にとって最適な方法をスタッフ全員で話し合っ実践しているが、本人が望んでいるかどうかは分からない。</p> <p>(外部評価)</p> <p>記録等に職員の気付きを記入し、印を付け、分かりやすくされる等、ご本人のことを全職員で把握できるよう取り組まれている。アセスメント表をご家族にも記入いただいている。</p>		さらに、ご本人の写真入りで、現在の状況や希望されていること、使用している介護用品を書き加えていけるようなオリジナルのアセスメント様式を検討されていた。さらに、意思表示の難しい方についても、どのように過ごされたいかということを探り続けてほしい。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	<p>(自己評価)</p> <p>・情報シートやご家族の話の中から、把握するよう努めている。</p>		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	<p>(自己評価)</p> <p>・その日の勤務者はもちろん把握しているが、休みのスタッフもその日の様子が把握できるよう記録、日誌、伝達事項に目を通してしている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<p>(自己評価)</p> <p>・ご家族の意見、主治医の意見、スタッフ全員の意見を取り入れ、カンファレンスを行いケアプランを作成している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>「生活をより豊かにするためのプラン」に力を入れておられる。職員の日々の気付きをもとに、ご家族と相談しながら考えておられる。</p>		さらに、「ご本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方」という点からも、介護計画の内容について検討されてみてはどうだろうか。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) ・3ヶ月に1回ケアプランの評価、見直しを行い、ご家族に報告している。その際要望等を伺っている。 ・入院などで状況に変化がある場合は、状態に応じたプランに変更している。変化の状態によっては、区分変更申請をし、要介護度も変わっている。 (外部評価) 3ヶ月毎の見直しと状態変化時、計画の内容が達成された時には計画を見直しされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) ・ケアプラン、ケアポイントを主とした個別記録の記入方法を実践している。 ・記録の内容は、本人の言葉が主となっている。又、スタッフのこえかけも「」で記入し、それをしてどのようになったか分かりやすく、次につながる記録になっている。気になる点は赤の波線を引き、評価、次のプランに活かしている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) ・デイサービスの行事がある場合参加している。 (外部評価) 一緒に過ごされた利用者の葬儀に参列されることも支援しておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) ・本人の意向は反映されていないが、民生委員やボランティアさんに多方面で協力していただいている。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) ・現在は、他のサービスの必要性はないが、必要な場合は、サービス事業者との話し合いを持ちたい。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) ・運営推進会議では地域包括支援センターのスタッフに参加してもらっているが、協働しているまでには至っていない。 ・3ヶ月に一度地域包括支援センターの方、事業所の方との集まりの機会ができ、今までより関わりが深くなった。		・今後より深く関わりを持ち、協働できるよう努めたい。
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) ・医師とご家族との話し合いにより、いつでも訪問診療を受けたり、ご家族の希望で受診できるよう支援している。 (外部評価) 母体病院の医師といつでも相談、対応が可能であり、日々、職員は、看護師資格を有する職員に利用者の様子を相談しながら、ケアをすすめておられる。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) ・主治医が、認知症サポート医であり、診断や治療、相談など受けることができている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) ・グループホーム内の准看護師や医療連携の看護師と相談し、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) ・スタッフが何度も病院を訪問し、状態を把握。医師、ご家族と相談しながら一日でも早く退院できるようにしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) ・契約を交わすとき重要事項説明書にターミナルの項目を設け、できること、できないことなど明確にしている。 ・終末期になれば、ご家族、医師、フロア主任、管理者で話し合い、方向性を決め、同意書を作成し、スタッフ全員で共有している。状態が変わるたびに話し合いの場を設け、共有している。 (外部評価) 事業所では、利用者ご家族の希望に応じて、看取りを事業所で行うことを支援されており、これまで、11人の方の看取りを支援された実績がある。利用者が亡くなった後、事業所内で体や髪をきれいにされ、みんなで思い出を語り、お別れをされている。最期は、母体病院の医師やご家族も事業所に泊まり、職員も協力し合って支援されている。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) ターミナルケアの同意書に基づき、何ができるか全員で話し合い実践している。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) ・直接、ケア関係者の所に出向き、センター方式の情報シートや、介護サマリーを渡し情報を提供し、ダメージを軽減している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価) ・カンファレンスなどを通じて、言葉かけや対応に着手して話し合いを行っている。 ・記録には本人以外の入居者をイニシャルで記入している。</p> <p>(外部評価) 職員の利用者へのかかわりに偏りがなく、チェック表を設けておられる。職員は、利用者の体調や精神状態等も踏まえてかかわっておられた。</p>		<p>・時折 ちゃん、 チーなどの呼び方が聞こえる為、一人ひとりが気を付けていきたい。</p> <p>ご家族の了解を得て、職員は、利用者に親しみを持って「～ちゃん」等と呼んでおられる。事業所では、そのようなことがあたりまえに行われている現状について、話し合いたいと考えておられた。又、「利用者が職員の名前を分からないままでよいか」ということについても、話し合いを重ねたいと考えておられた。</p>
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価) ・言葉がなかなか出ず、十分に伝えられないが、表情等を見ながら何がしたいのかを把握するよう努めている。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価) ・一人ひとりのペースを大切にしたいと思って努力しているも、スタッフの取り決めで過ごしている事が多いように思う。</p> <p>(外部評価) 介護度重度の利用者も日中は着替えをされており、その日の状態に合わせて居間で過ごされたり、外気に触れるような時間も作っておられる。職員は、庭や畑等のスペースも活用して、ご自分で自由に過ごせるよう声かけ等されている。</p>		<p>・一人ひとりにペースを大切に、希望に添えるよう努めたい。</p>

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価)  ・カットは月に一度来てもらっている。 ・お化粧すると喜ばれる入居者には時折行っている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価)  ・食事を楽しむ という状態ではなくなっている。 ・準備、片付けができる入居者もいない。  (外部評価) 食事担当の職員がおられ、利用者と相談しながら献立を決めておられる。食事内容については、管理者が利用者の立場に立って意見を言うようにされている。又、2階には介護度重度の方が多くおられるため、食事作りの音やおいを感じていただくために、現在は2階で調理をされている。1階ではお汁作りのみを行い、利用者が具を切る等食事にかかわるようにされている。職員も介助の必要な方の隣で、利用者と一緒に食事をしながらサポートをされていた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価)  ・おやつに関しては、自分で選べる方は選んでいただいている。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価)  ・本人の状態や訴えにより、トイレ誘導を行いトイレ誘導表を作り、排泄パターンを把握している。 ・夜間のオムツ、パッドのあて方は常に検討している。(勉強会を行った)		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			・入浴することで、状態の変化がある入居者が多いため、状態変化時の対応ができる日中の入浴が望ましい。		
			(外部評価)		
			現在、日中、夜間帯に入浴できるようになっている。介護度重度の利用者は、急変も考えられるため、日中、体調や状態を見ながら支援されている。又、利用者の楽な状態で入浴ができるよう、用具や支援に配慮をされている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			・できる限り一人ひとりの生活習慣や状態に合わせて、休んでいただいている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			・フロアで過ごす事が殆どではあるが、役割、楽しみ事を見つけ、場面作りや、外出などで気分転換を図っている。		
			(外部評価)		
			お部屋で過ごすことの多い状態の方も、共用空間で過ごす前にはご自分で鏡を見ながら髪をとかれたり、最年長の利用者は、他の利用者の要望に応じてハーモニカを吹き、楽しませてくれている。		事業所では、終末期までの支援を踏まえて利用者個々にかかわっていく姿勢であられ、「利用者の充実した時間、又、笑顔を引き出せるのは職員の力である。」と考えておられる。意思表示の難しいような利用者についても楽しみや気晴らし等、探りながら支援されてほしい。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			・お金を持つことの大切さを理解しているも、本人の希望、や力がその状態にない。		



自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			・希望に添えているかどうかは分からないが、外出の機械を心がけ、支援している。		
			(外部評価)		
			近くのコンビニエンスストアへ雑誌やおやつを買いに、お一人で出かけられる方がおられる。日々、庭で過ごされたり、散歩等にも出かけておられる。利用者の身体状況等も踏まえて、1, 2階の方と誘い合わせて出かけることもある。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			・毎年お花見には入居者全員、参加できるご家族と一緒に出かけている。 ・いちご狩り、ぶどう狩り、外食、ドライブ等計画し出掛けている。		・数年前、別府温泉一泊旅行や道後温泉入浴日帰りツアーを実現したが、その後行えていないため、ご家族と一緒に計画し、実現できればと考えている。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			・できる方には、電話をかけられるよう支援している。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			・いつでも来ていただけるような、開放的な雰囲気になっていると思う。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)  ・身体拘束については、学習し理解し拘束をしないケアに取り組んでいるが、どうしても拘束が必要な場合は、ご家族より、同意書をいただいている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価)  ・もちろんかけていない。鍵をかける必要性がない。  (外部評価)  鍵をかけず、いつでも外に出られるようにされている。又、窓を大きく取り、居室や居間に居る時にも外の様子もよくわかるようになっている。		・鍵を掛けないことに対してのデメリットもあり心配。(不審者の侵入)
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価)  ・常に9名の方の所在が確認できるよう、スタッフ間の声かけにより、入居者の安全を第一に心がけている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価)  ・あれば何気なく、自然な形で危険な物を取り除いているが、現在は必要ない。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価)  ・スタッフ全員が、事故防止に取り組んでいる。 ・ヒヤリハット(事故報告書)を記録することで、なぜ起こったか、どのようにすれば再発を防止できるかという改善点が見つかり気付きにもつながっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価)  ・一部のスタッフは、救急法の講習を受けているが全員でない。		・マニュアルはあるが、実施できるかどうかは不安である。 定期的な訓練を取り入れたい。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価)  ・緊急連絡網を作り、体制はできている。しかし、実際はどのようになるのが不安である。  (外部評価)  夜間を想定しての訓練や、階段から利用者を運ぶ訓練も行われた。又、いざという時には、近くのマンションの住人が駆けつけてくれるようになっている。		・入居者、スタッフだけの力では避難は難しい。近くの方の協力が必要であるため、避難訓練時に声を掛け一緒に訓練したり、日々の生活でも関わりが持てるよう関係作りを行い、協力体制を整えたい。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価)  ・入居時に説明し理解していただいている。 ・必要と判断した場合、ご家族、医師、フロア主任、管理者が集まり話し合う機会を設け、説明し、方向性を定め、記録に残している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価)  ・体調の変化や、異変があれば、医師に報告し、指示を仰ぎ記録をとり、スタッフ全員で確認し対応している。 ・記録には、赤字で記入している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) ・一人ひとりが使用している薬の名前、目的、副作用などが理解できるように、書類はあるが、全員が理解しているとは思えない。		・書類を活かし、スタッフ全員が把握できるよう徹底したい。
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) ・排便状況は毎日チェックし把握している。 ・朝食時、牛乳、バナナを摂取し排便を促している。		・高齢になると、食事、運動だけでは便秘が改善されないと思われるため、服薬も必要と思われる。
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) ・毎食後、日課として実施できている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) ・必要な人はチェック表を使用し、確実に1日1200CC以上摂取できるようにしている。 ・栄養不足の人には、エンジョイゼリーで補っている。 ・食べる量は体重増減などを考慮しながら、個々の食事形態を提供している。		
			(外部評価) 食事の形態も利用者の状況に合わせて様々で、職員は日々、記録し、注意することを共有しながら支援されている。寒天やゼリー等で水分補給できるよう工夫されている。献立の立て方は、混ぜご飯や麺等、1週間で大まかに決め、旬の食材を多く採り入れ、工夫がうかがえた。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) ・インフルエンザ予防接種は、ご家庭の承諾を得て、毎年実施している。 ・ノロウイルス対策は、熱湯消毒、B型肝炎対策では、薬剤消毒を行い徹底できている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) ・1日1回夜間に調理器具等の消毒を行っている。 ・ドーナパストリーゼ(消毒剤)を使用し、食中毒を予防している。		・新しく入った調理スタッフに衛生管理の徹底を行いたい。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b> (1)居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) ・日中も門扉を開けており、お遍路さんが立ち寄りたり、ご家族も自由な時間に入出入りできる。 ・門付近には、花を植え季節の花が咲いている。又、道路から見える場所に観音様を設置していて話のきっかけ作りになっている。		
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) ・食堂のテーブルなどに季節の花を活け、入居者に楽しんでいただいている。又、くつろいでいる時、童謡などのCDやテープをし口ずさんだりしながら、居心地の良さを引き出している。 ・フロアに七夕の笹やクリスマスツリーなど季節に応じたディスプレイをしている。		
			(外部評価) 共用空間内の各所に座る場所を設け、利用者はそれぞれの場所で、ご自分の洗濯物を置かれたり、おしゃべりされたりしていた。正座できる方は、畳の間で、お食事されることもある。トイレで雑誌を読まれる方もいる。		
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ・ソファでぬいぐるみや人形を抱いて話しかけたり、隣に腰掛けている入居者同士で会話したり、足浴したりと、ひとりであったり、複数であったりと場面作りを行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) ・入居者の使い慣れた物を居室に置いているが、果たして本人にとって居心地が良いのか判断できない。 ・ベッドの位置などは、ご家族の要望も取り入れている。		
			(外部評価) 居室は、日当たりがよく、布団が干しやすく、外の景色が眺められる造りになっている。馴染みのタンスやソファ、又、ご家族やご自身の写真を飾っておられる方もいた。冷蔵庫を置かれている方もあった。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) ・スタッフが、におい等に気付き窓を開けたりして、換気を行っている。 ・温度調節も、入居者の顔色や状態を見て、冷暖房などの調節を行っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) ・空間全体が、バリアフリーとなっておる。		・トイレの便座が高すぎる。 ・手すりの位置が悪い。
			(外部評価)		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) ・現状ではほぼ全員、何事にも介助を要するが、自立に向けての努力はしている。		
			(外部評価)		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価) ・庭の花を見たり、観音様に手を合わせたりしている。		
			(外部評価)		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	・利用者の生活史やできる事・わかる事などを確認しながら、カンファレンスの時にスタッフ間で話し合っている。意思表示できない人もいるが、スタッフ全員で理解するよう努めている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	・身体的に重度の方が多いため、1人1人の介護・対応に時間を要し、なかなか一緒にゆったりと過ごすということは難しいが、お茶を飲んだり、記録を書いたりと寄り添う時間を大切にしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	・ご自分の意志で生活できている人は少ないが、その人にとって心地が良いペースで暮らして頂くよう支援している。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	・そうした表情や笑顔が引き出せるようにスタッフがケアを行っているが、無反応な入居者さんもいる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	・自分から行きたい場所を伝えられる方がいない。又、スタッフの人数が限られているため、なかなか出掛けられていない。しかし今後は、その人にとってのなじみの場所や行きたいと思われる場所を、ご家族からお聞きして、出掛けられるように支援していきたい。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	・少しの変化にも気付くよう観察し、何か変化があれば、Drに連絡して指示をもらい、すぐに対応できるようになっている。またその人の状態に応じ、1日に数回バイタチェックしたり、職員の看護師に診てもらったりしている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	・身体的に重度の方が多いため、職員がその方及び、家族のの思いや要望などを汲み取り、安心して穏やかに暮らせるように支援している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ①ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	・まず、全てのご家族との信頼関係を作ることを重要視している。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ①ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	・利用者さんのご家族が一番多く訪ねて来ている。また、亡くなられた利用者のご家族が週に2回ボランティアさんとして来ている。近所に住んでいるご家族さんが、ホームの畑のお世話をしに来てくれている。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② ① ③ ④	・ 2ヶ月に1回運営推進会議は行われているが、報告が主体ではあるが、Drより医学的話を行っている。
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) ① ② ③ ④	・ 精神的にも肉体的にもかなり疲れている。が、利用者の笑顔や、優しい言葉に心癒されて働き続けることができる。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① ② ③ ④	・ 利用者の意思表示は難しいが、表情や笑顔などから判断すると、そうではないだろうか。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① ② ③ ④	・ 家族会などの報告では現状に不満はないとの事。

家族会などの報告では現状に不満はないとの事。

(自己評価)

- ・ 寝たきりの方でもネットを使用して入浴している。(本人の負担軽減)
- ・ できないと決めつけない介護、何でもチャレンジしている介護など前向きな気持ちで関わっている。
- ・ 現状維持では進歩がない。スタッフ全員が一つになって、前向きに取り組んでいる姿勢が素晴らしい。
- ・ ご利用者の喜びや充実したい日々を引き出せるのは、スタッフの力である。そのためにはスタッフの質を向上させる事が大切であると思う。